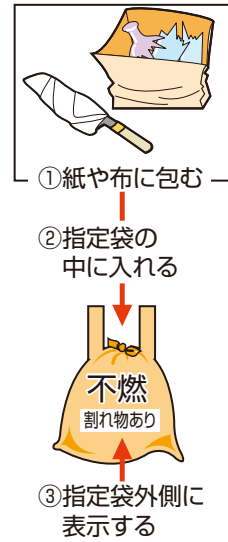


**分別再確認を！**  
刃物・割れ物は「不燃ごみ」



刃物や割れ物を乾電池やライターなどの別袋と一緒にに入れて出される場合があります、クリーンセンターの作業員が負傷する危険があります。中身の残ったスプレー缶も危険です。また、乾電池を抜かずに不燃ごみ袋に入れた電気製品が、収集車両の中で発火の原因となる場合があります。「ごみ・資源分別カレンダー」の17ページを再確認されるよう、お願いいたします。

**緊急的支援へ小金井市・国立市の可燃ごみ処理を受入れ**

二枚橋衛生組合の解散により処理できない小金井市の可燃ごみについて、「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定」及び緊急的・人道的な見地からクリーンセンター

1 地元環境対策委員会の合意を得て6月1日から受け入れていきます。これは、平成19年度から継続しているもので、今年度は来年3月末までに3千450ト以内の量を受け入れます。なお、小金井市の可燃ごみは、当市を含めて現在4団体（7市）のごみ処理施設で受け入れていきます。また、多摩川衛生組合の施設事故により処理できなかった国立市の可燃ごみも、同様に7月の1カ月間で約600ト受け入れました。国立市のごみは、当市と国分寺市で受け入れました。

**剪定枝の拠点収集**  
決められた日時に持ち込みを

ご家庭の庭木などを剪定した時に出る枝を、毎月広報15日号でお知らせした日時・場所にお持ちいただくだけ、無料で引き取った後、チップ化して公園に敷きならすなど、リサイクルしています。ルールを守ってお持ちください。また、65歳以上のみの世帯、3級以上の身体障害をお持ちの方のみの世帯で、収集拠点に行くのが困難な場

合は、無料で引き取りに伺います。  
（株）日野市企業公社（☎587・6321 ※平日のみ）へご連絡ください。



▼汚泥再生施設は順調に稼働

4月に運転を開始した汚泥再生施設は、6カ月を経過しましたが、順調に稼働しています。引き続き、安全で安定した運転管理を行っていきます。

▼ごみ処理施設の第2次延命化対策に着手

クリーンセンターのごみ処理施設は、新施設の稼働開始が平成31年に予定されていますが、それまでの間、現施設の老朽化に対処する為今年度から5年間で、第2次延命化対策を行っていきます。

1年目の今年度は、不燃ごみ破碎処理施設の破碎機用高圧モーターや供給フィーダーの更新、可燃ごみ処理施設の電気・計装関係機器の部分更新や燃焼装置の修繕などを予定しています。

**分別 お迷い クイズ 答え**

シャンプーや洗剤などに多く見られる底が「一文字」になっているプラスチックボトルの本体は、市の回収「トレー類」の日にお出しください。誤って「ペットボトル」の日に出される方がいるのでご注意ください。

**次号のこの情報誌に 広告 を載せませんか？**

①縦4.5cm×横9.0cm（この枠の大きさ）  
②縦4.5cm×横18.5cm  
掲載料（予定）①…2万5千円 ②…5万円  
詳細は、ごみゼロ推進課（☎581-0444）へ